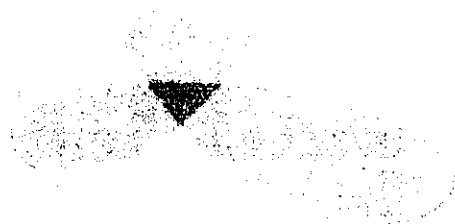


令和4年度

特別養護老人ホームせくれ~Secure~

事業報告書



みんなの「生きる」を  
社会福祉法

社会福祉法人ふれあいの里

## V.令和4年度特別養護老人ホームせくれ～Secure～並びに併設型短期入所生活介護事業所せくれ～Secure～事業報告書

令和5年3月31日 現在

### 1. はじめに

特別養護老人ホームせくれ～Secure～は、約12年目が経過し、ご家族の方々はじめ地域の皆様、ご利用者様、職員、関係するの方々すべての皆様のご協力とご理解のもとコロナ禍ではありましたが、ご配慮を賜りながら運営してこれた事に深謝する年度でもございました。

事業所といたしましては、入居者の皆様に少しでもこのコロナ禍ではありますが日々の中で、楽しみを感じて頂けるよう、感染対策を講じた上で、各棟ごとに家庭的な雰囲気をお大切に行事等を開催してきました。

長期入居者様については、様々な疾患をお持ちになっている方々が、お食事を摂る事が困難になったことを理由に医療機関に入院し退居となったケースがあり、事業所内での専門職間の連携や委員会体制の充実を図りながら、入居者皆様方の満足度の更なる向上や安心の拡充を目的とし、職員皆で取り組んできた年度でもございました。

今後も、特別養護老人ホームにおける設置目的や職種ごとの役割を、しっかりと認識しながら、法人理念や施設理念の目的を職員相互で再共有し、ご利用者様はじめ、関係する皆様へ「安心」「安全」と思えるサービスを届けて参りたいと考えます。

令和5年度は、よりよいサービスを提供するためにも、目的や方針など共有の機会を図る体制を円滑且つ効率的に展開し、入居者皆様へ提供するサービスの一つ一つに満足感を感じて頂けるよう、マンパワーである職員皆で取り組んで参りたいと考えております。

新型コロナウイルスによる制限も5類となり、これまで制限してきた家族や地域との交流の機会や、諸行事、面会など、徐々に緩和される運びとなると思われまます。

令和5年度は、これまで制限されてきたものが、コロナ前の状況へ改善される年度でもあると入居者皆様はじめ、ご家族や地域の皆様方も期待されていることが伺えます。

以上の期待に応えるべく、ご家族、地域の皆様方と連携し、一体的な運営を図りながら、入居者皆様方の楽しみや満足度の更なる向上を事業所の基本方針とし、職員皆で取り組んで参りますので、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

## 2. 施設の形態及び定員

事業名	居室形態			
	4人部屋	2人部屋	個室	合計
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	12床	2床	18床	32床
短期入所生活介護	0床	8床	2床	10床
合計	12床	10床	20床	42床

※短期入所生活介護には、空床利用型障がい者短期入所生活介護サービスの利用可能枠2床を含む。

## 3. 入居者の状況

### (1) 出身別入居者状況

出身地別	従来棟	ユニット型10名棟	ユニット型8名棟
迫町	8名	5名	5名
南方町	2名	2名	1名
豊里町	0名	0名	0名
中田町	3名	1名	0名
登米町	0名	1名	0名
石越町	0名	0名	0名
東和町	0名	0名	0名
米山町	0名	0名	0名
津山町	0名	0名	0名
合計	13名	9名	6名

### (2) 年齢別入居者状況

	~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳~	合計
男	0	0	0	1	2	3	3	0	1	0	10
女	0	0	0	1	2	1	6	7	1	0	18
合計	0	0	0	2	4	4	9	7	2	0	28

最高年齢： 95歳

最少年齢： 72歳

### (3) 介護度及び男女別入居（利用）状況

① 従来型 令和5年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度	
男性	0	0	0	0	0	0	/	
女性	0	1	4	5	3	13		3.8
合計	0	1	4	5	3	13		3.8

② ユニット型 令和5年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	0	3	4	3	10	4.0
女性	0	0	1	2	2	5	4.2
合計	0	0	4	6	5	15	4.1

③ 併設型短期入所生活介護 令和5年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	0	0	0	0	0	0
女性	1	0	0	0	0	1	1
合計	1	0	0	0	0	1	1

### (4) 稼働状況

① 従来型

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	14名	30日	420	300	78.6
5月		31日	434	310	78.6
6月		30日	420	300	78.6
7月		31日	434	343	86.2
8月		31日	434	403	100.0
9月		30日	420	390	100.0
10月		31日	434	403	100.0
11月		30日	420	390	100.0
12月		31日	434	403	98.4
1月		31日	434	391	90.1
2月		28日	392	352	89.8
3月		31日	434	403	92.9
従来型平均稼働率			425.8	388.0	91.8

②ユニット型

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	18名	30日	540	450	83.3
5月		31日	558	465	83.3
6月		30日	540	404	74.8
7月		31日	558	414	74.2
8月		31日	558	478	85.7
9月		30日	540	454	84.1
10月		31日	558	448	80.3
11月		30日	540	420	77.8
12月		31日	558	434	77.8
1月		31日	558	434	77.8
2月		28日	504	401	79.6
3月		31日	558	458	82.1
ユニット型平均稼働率			547.5	438.3	80.1

③併設型短期入所生活介護（障がい者短期入所生活介護を含む）

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	10名	30日	300	0	0.0
5月		31日	310	0	0.0
6月		30日	300	0	0.0
7月		31日	310	0	0.0
8月		31日	310	0	0.0
9月		30日	300	0	0.0
10月		31日	310	0	0.0
11月		30日	300	0	0.0
12月		31日	310	0	0.0
1月		31日	310	0	0.0
2月		28日	280	0	0.0
3月		31日	310	19	6.1
併設型短期入所生活介護平均稼働率			365.0	1.6	0.5

(5) 利用者負担段階別所得区分の状況

① 従来型

令和5年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
男性	0	0	0	0	0
女性	1	4	5	3	13
合計	1	4	5	3	13

② ユニット型

令和5年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
男性	1	1	4	4	10
女性	0	3	1	1	5
合計	1	4	5	5	15

③ 併設型短期入所生活介護

令和5年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
男性	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	1	1
合計	0	0	0	1	1

【上記所得区分の内容】

利用者負担第1段階	住民税非課税世帯・老齢福祉年金受給者並びに生活保護受給者の方
利用者負担第2段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以下の方
利用者負担第3段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以上266万円未満の方
利用者負担第4段階	左記以外の方（課税年金収入が266万円以上の方）

(6) 日常生活の状況（従来型+ユニット型：32名対象）

① 日常生活自立度の状況【日常生活自立度（寝たきり度）判定基準】（厚生労働省）

令和5年3月31日 現在

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出する	
		1. 交通機関を利用して外出する	0名
		2. 隣近所へなら外出する	2名
準寝たきり	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない	
		1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する	4名
		2. 外出する頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている	8名

寝たきり	ランクB	屋内での生活は介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが座位を保つ	
		1. 車いすに移乗し、食事・排泄はベッドから離れて行う	4名
		2. 介助により、車いすに移乗する	4名
寝たきり	ランクC	一日中ベッドで過ごし、排泄・食事・着脱において介助を要す	
		1. 自力で寝返りをうつ	3名
		2. 自力では寝返りをうたない	5名

② 日常生活動作の状況【日常動作判定基準】(厚生労働省)

令和5年3月31日 現在

1. 移乗	A 時間がかかっても介助無しにひとりで歩く	3名
	B 手を貸してもらするなど一部介助を要する	18名
	C 全面的に介助を要する	7名
2. 食事	A やや時間がかかっても介助なしに食事をする	11名
	B おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	10名
	C 全面的に介助を要する	7名
3. 排泄	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	6名
	B 便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	10名
	C 全面的に介助を要する	12名
4. 入浴	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	0名
	B 体を洗ってもらうなど一部介助を要する	16名
	C 全面的に介助を要する	12名
5. 着替	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	3名
	B 袖をとおしてもらするなど一部介助を要する	15名
	C 全面的に介助を要する	10名
6. 整容	A 時間がかかっても介助無しに自由に行える	10名
	B タオルで顔を拭いてもらうなど一部介助を要する	11名
	C 全面的に介助を要する	7名
7. 意思疎通	A 完全に通じる	2名
	B ある程度通じる	19名
	C ほとんど通じない	7名

③ 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準（厚生労働省）

令和5年3月31日 現在

ランク	判定基準	人数
I	何らかの認知症を有するが日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	0名
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても誰かが注意していれば自立できる	3名
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる	名
II b	家庭内で上記IIの状態が見られる	0名
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	15名
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる	0名
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる	0名
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	10名
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	0名

④ 認知症状による行動障害

徘徊	不潔行為	異食	自傷行為	心気抑うつ状態	火の扱い	幻覚	不穏興奮	妄想
3名	1名	1名	1名	1名	0名	0名	1名	2名

4. 各課毎の業務報告及び課題

平成24年6月1日より、特別養護老人ホームせくれ～Secure～が運営を開始し早いもので12年目を迎えようとしております。

各ユニットとも開所からこれまでの期間は、入居者のこれまでの『生活リズム』や『生活歴』を考慮し、生活する場所が変わっても安心して暮らせる場所『家』となるべく業務へ邁進してきました。また、介護サービスを提供する上で、知識や技術において、均等ではないため業務体制の構築へ時間を要し、より良いサービス体制の構築のため経験者、新卒者とも葛藤しながら業務へ一所懸命取り組む姿を垣間見て来たように感じます。

このような状況の中、大きな事故もなく、施設サービスを提供してこれたのも、看護、介護の責任者が中心となり、介護技術や業務へ対する姿勢、取り組み方ばかりではなく、『業務へ対する思い』を含め丁寧な指導を重ねた結果と感じます。

現在では、日常業務の他、これからの『せくれ～Secure～』のサービスの在り方について、法人の基本理念や施設経営方針を考慮しながら、業務へ取り組めるようになってきております。

今後とも介護課、相談課、看護課、栄養課、事務課、それぞれが連携を図りながら、入居者の皆様はじめ関わる全ての皆様にとって、なくてはならない施設を目指し努めてまいります。

以上を含め、令和4年度の課題と目標について、各課毎、以下のとおり報告します。



## (1) 事務課

事務課 令和4年度の課題
<p>1. 自宅や病院から入居されて、機能の低下により自分のしたいことができないなど、自分の「したい」という希望がなくなると生き甲斐が見いだせない入居者様があり、その方への支援が出来ておりません。また、ショートステイは、「サービス提供」や「運営の管理」が最も難しいサービスの一つと言われおり、利用者様への「サービス提供」においては、生活環境の変化に伴う心身の影響や、利用者様と家族様のサービス利用に対する考え方や方向性の調整の課題があります。「運営管理」では、毎日、複数の利用者が入替わることから、職員の業務もより複雑化されることが想定され、他職種との連携が必要であり、入居者様を支える「職員の支援」も課題として挙げられます。</p> <p>2. 感染症や災害では、新型コロナウイルス感染症や地震などの大規模災害が発生しており、職員の配置、物資の確保、マニュアルや指針の策定と見直し、ご家族様・地域住民との関りの自粛、入居者様の制限による稼働率の低下など「対応力強化」も課題であります。</p> <p>3. 昨年度から引き続きの課題・目標具体的推進事項となるため振り返りをしっかりと行い現状把握することを忘れずサービスの質の向上へ繋げるための共有・共感をチームとして展開する。</p>
課題を改善するために講ずる計画の概要
<p>1. 入居者様の「自立支援」と「社会的自立」に向け、職員と一緒に現状把握と改善案を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・入居者様及び職員とコミュニケーションを図る。また、24Hシートやケアプランを通して、入居者様の趣味嗜好を理解し、毎日の生活に取り入れる。</li></ul> <p>2. 入居者家族様とのコミュニケーションを図り、情報の共有と現状把握に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・感染症予防を考慮した上での、家族会やご家族の皆様が関われる行事等を開催する他、オンラインでの面会ができるよう整備し、入居者家族様の現状把握と余暇活動の充実に向け、取り組む。</li></ul> <p>3. 地域へ施設の情報を発信し、地域の拠点となるよう努める。(社会福祉法改正に伴う地域との公益的な取り組みの実施)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・感染症予防を考慮した上での、運営推進会議や地域協力員会議にて地域との関わり場を持ち、意向や考えを聴き、入居者様の生活の質の向上に努めたい。また地域住民へ感染症等に関わる情報提供を行い、かん戦勝拡大防止と地域福祉の向上に努める。</li></ul> <p>4. 職員の人材育成に努める(介護報酬改定に伴い職員の育成に努め、サービス向上と業務の効率化、働く場所の環境整備へ繋げる)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・入居者様の安全安心な生活のため、サービス提供を行う職員の外部や内部での研修をオンラインでもできるよう、計画・実施と研修後の復命の機会の確保に努める。</li></ul> <p>5. ロボット介護機器の導入により、入居者様の事故防止と生活リズムの把握から自立支援と重度化防止に努める。(重点施設)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・介護機器を導入し、入居者様の事故防止と生活リズムの把握、職員の労働負担の軽減、残業の見直しと効率化を図り、自立支援と重度化防止に努める。また委員会を通じて機器の導入前と後の検証(PDCAサイクルとCHASE・VISIT情報の収集・活用)を行う。</li></ul> <p>6. 入居者様の「水分摂取」強化に努め、自立支援と重度化防止を図る。</p>

- ・介護報酬改定に基づき、口腔ケア管理体制を整備し、水分摂取における嗜好調査や摂取しやすい環境を整え職員の水分摂取や咀嚼嚥下・口腔ケアにおける知識と技術の向上のための研修企画に努める。
- 7. 感染症拡大防止及び災害の備えのため、感染症・災害対策を徹底するとともに、入居稼働率の維持・向上に努める。
- ・「対策マニュアル・指針資料」をもとに、研修、対策における体制の構築、シュミレーション（訓練）を行い、対策を取ったうえで、入居者を受け入れ稼働率の維持・向上に努める。

## (2) 相 談 課 (生活相談員・介護支援専門員関係)

### ①主な業務報告

#### 【ケアカンファレンスの開催状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
8名棟	1	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
10名棟	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
従来棟	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
合 計	4	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13

※入居者へ対し、3ヶ月に1回モニタリング、6カ月に1回ケアプランの見直し、1年に1回、ケアプランの立案を行った。

※ケア、栄養、機能訓練のケアプランを反映させた、入居者個々の24時間シートを整備した。

#### 【月別入居者数】

ユニット/ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	11	11	11	13	14	14	14	14	14	13	13	13	155	13
10名棟	9	9	9	9	10	10	10	9	9	9	9	10	112	9
8名棟	6	6	6	5	6	6	6	5	5	5	7	7	70	6
合 計	26	26	26	27	30	30	30	28	28	27	29	30	337	28

#### 【月別新規入居申込の状況】

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	2	0	5
要介護4	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	2	0	7
要介護5	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	8
合 計	1	0	2	1	1	1	2	2	0	3	6	1	20

【地域別入居申込の状況】

令和5年3月31日現在

	迫町	登米町	東和町	中田町	豊里町	米山町	石越町	南方町	津山町	他市町村	計
男	3	0	0	0	0	0	2	3	0	0	8
女	4	1	1	2	2	0	1	1	0	0	12
計	7	1	1	2	2	0	3	4	0	0	20

【退居状況】

1. 退居理由

令和5年3月31日現在

	希望退居	施設間異動	入院継続	死亡(施設)	死亡(病院)	合計
男	0	0	2	0	1	3
女	1	0	0	0	5	6
計	1	0	2	0	6	9

2. 月別退居者数

ユニット/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.2
10名棟	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0.2
8名棟	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4	0.3
合計	0	0	2	0	0	1	2	0	1	1	0	2	9	0.8

② 課題及び改善計画

相談課 令和4年度の課題

- 1.新型コロナウイルスの感染拡大における、介護施設の集団感染の発生を受け、介護サービスを受けるにあたっての不安が聞かれている。短期入所においても、感染への懸念からこれまでご利用いただいていたご利用者様の利用中止、他施設への長期入居等が見られる。今後の感染対策の徹底と、周知が課題となってくる。長期入居においても、年間を通じて体調を崩す方が多く見られた。長期にわたって入院された方もおり、居室の空きも多くなってしまった。空床時の情報提供、短期入所空床利用の有効活用が課題として挙げられる。
- 2.昨今の社会情勢において、ご利用者様の希望する面会や外出ができていないため、それに代わるような楽しみの提供（行事、クラブ等）を継続して施設全職員共有の元行う必要がある。
- 3.昨年度から引き続きの課題・目標・具体的推進事項となるため振り返りをしっかりと行い現状把握することを忘れずサービスの質の向上へ繋げるための共有・共感をチームとして展開する。

### 課題を改善するために講ずる計画の概要

1. 短期入所生活介護における安定した稼働の維持に取り組む。
  - ・ 安心、安全にご利用いただくために、新型コロナウイルスに対する感染対策の徹底。外部への感染対策の周知と情報提供、抗原検査の実施状況の公表。
  - ・ 送迎時におけるマニュアルの周知、徹底。
  - ・ ご利用期間中の健康状態の確認、報告（退居時）。
  - ・ 各居宅介護支援事業所への空き状況の情報提供。
  - ・ 積極的な新規ご利用者様の受け入れ。
2. 入居者皆様に元気でお過ごしいただき、空床を作らない。
  - ・ 各課との連携をとり、日々の体調把握に努める。
  - ・ 空床発生時、各居宅事業所への情報提供、利用の呼びかけ。

## (3) 看 護 課

### ① 主な業務報告（健康管理の状況）

#### 【嘱託医の回診状況】

嘱託医（宮崎裕医師）による週1回の回診では、入居者様への適切な処置や日常生活における健康管理をご指導頂き、快適な暮らしができるように体調の管理に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	4回	4回	5回	4回	4回	5回
人 数	155名	123名	118名	155名	128名	127名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	4回	4回	5回	4回	4回	5回
人 数	151名	128名	127名	122名	128名	157名

#### 【歯科医師の回診状況】

月1回協力歯科医（千葉明宏先生）に診察を受け、適切な処置や歯磨きの指導をしていただき、口腔内の清潔保持と口腔機能低下の予防に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
人 数	6名	6名	5名	7名	7名	9名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
人 数	6名	6名	6名	6名	6名	7名

【理学療法士の指導状況】

個別リハビリの充実を図るため、月2回氏家理学療法士の指導でプログラムを作成し機能回復訓練を実施するとともに、入居者様それぞれに応じた筋力維持運動・関節可動域訓練を実施しました。また、日常生活の中で行うレクリエーションやクラブ活動を通して身体機能低下の予防を図りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指導回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
人数	17名	17名	19名	14名	16名	16名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
人数	13名	15名	18名	15名	17名	15名

【入院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2名	2名	1名	0名	0名	2名	1名	0名	1名	0名	3名	1名	13名
外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
泌尿器科	0名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	3名
脳外科	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名
整形外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

【通院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2名	2名	0名	0名	3名	7名	0名	0名	1名	0名	2名	3名	20名
外科	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
透析	26名	28名	20名	14名	13名	13名	13名	26名	26名	23名	24名	19名	245名
整形外科	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	3名
腎臓内科	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名
脳外科	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
皮膚科	0名	1名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	1名	3名	0名	0名	6名
歯科	0名	0名	2名	4名	2名	2名	5名	2名	1名	0名	1名	2名	21名
婦人科	1名	2名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	4名
精神科	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名

【結核健診の実施状況】

※令和5年2月27日付、宮城県結核予防会による胸部レントゲン撮影22名を実施。  
(他2名：透析にて毎月1回撮影済み)

② 看護課 課題及び改善状況

看護課 令和4年度の課題
1. 入居者様のご家族に対して入居者様の健康状態が上手く伝わっていない。
課題を改善するために講ずる計画の概要
入居者の状態把握の為に居室への巡回に加え、入居者様とのコミュニケーションを取りながらその方の状態観察を行ってきた。また会議、委員会などに参加し、看護課としての情報の提供や介護その他の課からの情報収集にも努め、ご家族様の面会時や問い合わせがあった際は対応してきた。

(4) 栄養課

① 栄養管理部門の主な業務報告

毎日バランスの摂れた食事を安全面も考慮しながら無事に提供し続けることが出来ました。給食だけでは行き届かない面は、定期開催のカフェや居酒屋の実施で入居者様の嗜好や要望をかなえた、こまやかな対応をすることが出来ました。他課との協力・連携あつての食事提供であるということを念頭に置き、今後もせくれらしい食事作りを心がけていきます。

【食事形態と提供給食数】

1. ユニット型 長期入居 (定員：18名) 令和5年3月31日現在

月	常食	ソフト食	ムース食	ミキサ	軟菜食	経管	合計 (1日平均)
4月	9.9	27.0	9.4	4.8	0.0	0.0	51.1
5月	12.0	27.0	6.0	3.1	0.0	0.0	48.1
6月	9.6	27.0	8.1	3.0	3.0	0.0	50.7
7月	12.0	24.0	24.0	3.0	3.0	0.0	66.0
8月	14.6	24.0	24.0	3.0	3.0	0.0	68.6
9月	15.0	22.3	9.0	3.0	3.0	0.0	52.3
10月	15.3	16.7	9.0	3.0	3.3	0.0	47.3
11月	15.0	21.0	9.0	3.0	6.0	0.0	54.0
12月	15.0	21.0	8.1	3.0	6.0	0.0	53.1
1月	15.0	21.0	6.0	1.8	6.0	0.0	49.8
2月	18.0	21.0	6.0	3.0	6.0	0.0	54.0
3月	18.0	21.0	6.0	3.0	6.0	0.0	54.0
合計	169.4	273	124.6	36.7	45.3	0.0	649.0

## 2. 従来型 長期入居 (定員：14名)

令和5年3月31日現在

月	常食	軟菜	ソフト 食	ムース 食	ミキサ ー	経管	合 計 (1日平均)
4月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
5月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
6月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
7月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
8月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
9月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
10月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
11月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
12月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
1月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
2月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
3月	8.4	18.0	0.0	6.0	3.0	0.0	41.4
合 計	107.4	216.0	72.0	72.0	36.0	0.0	503.4

## 3. 併設型短期入所生活介護 (定員：10名)

令和5年3月31日現在

月	常食	ソフト 食	ムース 食	ミキサ ー	軟菜食	経管	合 計 (1日平均)
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	1	0	1
合 計	0	0	0	0	1	0	1

## 【行事食の提供状況】

行事食に関しては、季節毎に工夫を凝らし、普段とは一味違った食事を楽しんでいただけるよう、心がけました。観桜会の際には、お花見弁当を提供し、入居者皆様と職員で桜を見ながら同じお弁当を味わう機会や、長寿を祝う会では、バイキング形式で提供し、入居者の皆様や御家族に楽しんで頂くことが出来ました。

提供月日	行事食名	献立内容
4月11日	観桜会	桜ちらし、天ぷら、鯖の西京焼き、炊き合わせ、果物盛り合わせ、茶碗蒸し
4月29日	昭和の日	セレクトメニュー A ナポリタン B ピラフ
5月13日	母の日	シーフードカレー オムレツ ほうれん草とベーコンの炒め物 ヨーグルト
6月1日	開設記念	そば、助六セット、天ぷら盛合、炊合せ、果物盛合
6月24日		セレクトメニュー A 焼きそば B 野菜炒め定食
7月7日	七夕	七夕ちらし寿司 京菜と豆腐のスープ 星ポテト 杏仁豆腐
7月15日	海の日	冷やし中華定食
7月27日	土用の丑の日	うな重風、吸い物、海老ともやし炒め 柚子ゼリー
8月10日	山の日	おにぎり(2こ) 豚汁 卵焼き きんぴらごぼう
8月24日	納涼祭	ハムカツカレー ヨーグルト
9月13日	十五夜	セレクトメニュー A 月見うどん B 月見丼+すまし汁
9月16日	長寿を祝う会	バイキング
10月11日		セレクトメニュー A けんちんうどん B ゆかりご飯
10月31日	ハロウィン	ドライカレー パンプキンスープ ほうれん草の炒め物
11月3日	文化の日	ご飯 清汁 お刺身2点盛り 卵豆腐 甘酒
11月20日	収穫祭	おにぎり いも煮汁 はっと
11月23日	勤労感謝の日	ねぎとろ丼 清汁 だし巻き卵 甘酒
12月24日	クリスマス	クリスマスバイキング
12月31日	年越し	ご飯、年越しそば、赤魚の煮付け、野菜かき揚げ 茶碗蒸し
1月1日	元旦	ご飯、清汁、豆腐のかにあんかけ、おせち3点盛、紅白なます
1月2日	2日	ご飯、みそ汁、筑前煮、おせち3点盛、浅漬け
1月3日	3日	ご飯、みそ汁、厚揚げの和風あんかけ、おせち3点盛、黒豆
1月7日	七草粥	七草粥、豚汁、鮭塩焼き、春菊くるみ和え
1月13日	新年会	お寿司、天ぷら盛合、紅白テリーヌ、木の葉南瓜、炊き合わせ、茶碗蒸し
1月15日	小正月	小豆粥、けんちん汁 ブリ大根 かぼちゃのそぼろ煮
2月3日	節分	散らし寿司、けんちん汁 イワシ団子のみぞれ煮 やわらかきんとき
2月11日	建国記念日	ご飯、清まし汁、カツオのたたき ほうれん草の煮びたし



2月14日	バレンタインデー	ドライカレー クラムチャウダー ハートハンバーグ フルーツ杏仁豆腐
3月3日	桃の節句	お桜ちらし寿司、吸い物 花形豆腐ハンバーグ 三色ゼリー
3月20日	春分の日	山菜そば、筍ごはん 春野菜の天ぷら 菜の花お浸し

【非常食の備蓄状況】

非常災害に備え、3日間9食分を備蓄しております。また、東日本大震災を教訓とし、調理方法など工夫を凝らした食事が提供できるよう、給食委員会の場を活用し整備して参ります。

食品名	数量	食品名	数量
災害用 S50 白飯(5 kg)	7ケース	五目豆(BH)(48 個入)	1ケース
災害用 S50 五目御飯(5 kg)	1ケース	ひじき(BH)(48 個入)	1ケース
イソップ 災害パン オレンジ(24 個入)	2ケース	切干大根(BH)(48 個入)	1ケース
レスキュー みそ汁(24 個入)	10ケース	かぼちゃいとご煮(BH)(48 個入)	1ケース
コーンポタージュ(30 個入)	2ケース	朝からフルーツ黄桃(24 個入)	1ケース
レスキュー ウィンナーと野菜のスープ煮(24 個入)	2ケース	朝からフルーツミックス(24 個入)	1ケース
おいしい防災食 豚汁(50 個入)	2ケース	朝からフルーツ杏仁(24 個入)	1ケース
レスキュー 牛肉大和煮(24 個入)	2ケース	ピュアマンウーロン茶(30 本入)	4ケース
レスキュー マーボー丼(24 個入)	2ケース	野菜生活 100 オリジナル(30 本入)	4ケース
レスキュー 鶏肉うま煮(24 個入)	2ケース	レスキュー中華丼の素(24 個入)	2ケース
徳用ビーフカレー ジャンボサイズ(9 kg)	1ケース	JA 全農千葉白粥(50 食入)	2ケース
サバのみそ煮 EO(48 個入)	1ケース	さんま味付生姜風味(48 個入)	1ケース
いわし味付け EO(48 個入)	1ケース	立山の天然水 5年保存(21×6 本)	5ケース
サトイモいか(BH)(48 個入)	1ケース	5年保存水(1.5l×8 本)	4ケース

※ 3日分の非常食となります。

② 栄養課 課題及び改善状況

栄養課 令和4年度の課題	
1.	栄養課職員1人1人が、入居者様の摂食状況や疾病等も把握しつつ食事作りに取り組む。
2.	ユニット調理を介護課と協力して行う。職員からの企画提案の依頼がある時は協力し実行出来るように努める。
課題を改善するために講ずる計画の概要	
①	調理をする際に、なぜこの入居者様はこの食形態で、この提供方法になっているのか関心を持ち、現状を把握することで、調理に取り組む際の注意点をより意識できるようにする。
②	入居者が慣れ親しんだ料理を介護課と協力し、一緒に作って食べる楽しみを味わって頂く。毎年行っている嗜好調査の結果を活かすことはもちろん、各棟で誕生会などの機会に行っている間食作りは継続して行っていけるよう、企画調整に努める。

(5) 介護課

入居前の生活と入居後の生活が継続したものとなるよう、24時間シートの作成に力を入れて参りました。しかし、なかなか活用がうまくできておかないことがあります。まずは、入居者様とコミュニケーションを密にとり気づける職員を目指すことを、今まで以上に取り組んでまいりたいと思います。職員一人ひとりがきちんとした配慮ができ、社会人として恥ずかしくない行動が取れるように行い、ご家族様の満足度やサービスの向上に努めていきたいと思っています。今後も「基礎・土台」を忘れることなく、入居者様のための自立支援に繋げていければと思います。

また、以前から導入しておりました、介護機器・眠りスキャンについてもご家族様の安心に繋げられるように、今後も活用してまいりたいと思います。

【入浴の実施状況】

ユニット名	入浴種別	3月31日
8名棟	一般浴	1名
	中間浴	4名
	特浴	2名
10名棟	一般浴	1名
	中間浴	5名
	特浴	2名
従来棟	一般浴	7名
	中間浴	0名
	特浴	4名

【全体の状況】

入浴種別	対象者数
一般浴	9名
中間浴	9名
特浴	8名

### ユニット別の特徴及び考察

入居者1名に対し、週2回以上の入浴を実施している。体調不良などにより入浴できない場合は、代替えとして全身清拭、部分清拭を行っている。各ユニット毎の入浴介助における特徴及び考察については、以下の通りです。

#### ○8名棟

- ・歩行、立位を保持される方については、ユニット内の個浴にて入浴されています。
- ・立位不可でも、座位が保てる方は、中間浴にて入浴されています。
- ・立位、座位が保てない方は、特浴にて状態に合わせて入浴されています。
- ・体調等入浴出来ない場合は入浴日変更、もしくは清拭の代替え対応しております。

#### ○10名棟

- ・歩行、立位を保持される方については、ユニット内の個浴にて入浴されています。
- ・立位不可でも、座位が保てる方は、中間浴にて入浴されています。
- ・立位、座位が保てない方は、特浴にて状態に合わせて入浴されています。
- ・体調等入浴出来ない場合は入浴日変更、もしくは清拭の代替え対応しております。

#### ○従来棟

- ・立位、座位保持可能な方は、個浴にて入浴されています。
- ・立位、座位保持できない方は、特浴にて入浴されています。
- ・ご本人様の心身の状況、本人様の希望や意向に合わせてシャワー浴を実施しています。
- ・ショートステイをご利用の方は、本人様の希望によりユニットの中間浴を使用します。

【ユニット別 排泄状況】※1日をとおしたケアにおいて、対象人数を記載。

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	おむつ交換	6名
	トイレ誘導	0名
	排泄介助	0名
	留置カテーテル	0名
計		6名
10名棟	おむつ交換	7名
	トイレ誘導	1名
	排泄介助	2名
	留置カテーテル	0名
計		10名
従来棟	おむつ交換	4名
	トイレ誘導	2名
	排泄介助	6名
	留置カテーテル	0名
計		12名

## ユニット別の特徴及び考察

### ○8名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意がなく歩行可能な方は、その方のリズムに合わせトイレ誘導を行い、排泄介助を行っています。
- ・尿意、便意がなく立位困難な方は、オムツにて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、パッドの種類を使い分けています。

### ○10名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意がなく歩行可能な方は、その方のリズムに合わせトイレ誘導を行い、排泄介助を行っています。
- ・トイレ誘導については、訴え、または排泄シグナルを見落とさず、実施しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツの種類を使い分けています。

### ○従来棟

- ・歩行、立位可能な方は、定時のトイレ誘導、声掛けにて対応しています。
- ・歩行、立位出来ない方は、定時のオムツ交換にて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の状況により夜間オムツ交換の方でも日中職員2名にて、トイレ介助を行っております。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツ、パットの種類、オムツの回数を検討し、対応しております。

### 【ユニット別 食事介助状況】

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	全介助	2名
	一部介助	2名
	自立（セッティング）	3名
	計	7名
10名棟	全介助	3名
	一部介助	1名
	自立（セッティング）	4名
	計	8名
従来棟	全介助	3名
	一部介助	2名
	自立（セッティング）	6名
	計	11名

## ユニット別の特徴及び考察

### ○8名棟

- ・自立の方は、個々の食べるペースを尊重し、見守りを行っています。
- ・途中で手が止まってしまう方には声掛け、又一部介助にて対応しています。
- ・居室で食べたい方へは定期的に巡回し見守りしながら安全に食事が食べられるよう、配慮しております。

### ○10名棟

- ・基本的に提供時間は決まっていますが、食事提供時間内でそれぞれ好きな時間に食べて頂いています。また、出来る限りご自分で食べて頂けるよう、声掛け、配慮しながら必要時に介助行っております。
- ・入居されている方の楽しみでもあり、生命の維持に重要な『食べる』を大切に職員同じ思いで食事の時間を提供させて頂いています。入居者個々のペースで、ゆっくり落ち着いて、楽しい雰囲気の中で、環境にも配慮しながら食事を提供できるよう、努めています。

### ○従来棟

- ・配膳、セッティングは職員が行い、自力摂取を基本とし、見守り、声掛けを中心に食事ケアを実施しています。
- ・食べこぼしや途中で手が止まってしまう方には、見守りや声掛けを行い、可能な限り自力摂取できるように促し、自力摂取、一部介助、全介助と見守りながら介助しています。
- ・離床が負担になり、居室で食べたい方、一人でゆっくり食べたい方等居室でご本人の要望に応じた対応を心掛けています。
- ・入居者の状態や意向をお聞きしながら、嗜好品を購入して対応しております。

### 【ユニット別 余暇活動実施状況】

ユニット/月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ユニット	外出支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	お菓子作り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	誕生会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	ユニット行事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	個別外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
従来棟	ユニット行事	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
合計		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4

【ひやりはっと・事業報告状況（ユニット別）】

ユニット/月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8名棟	ヒヤリハット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故報告	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
10名棟	ヒヤリハット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故報告	0	0	1	1	1	0	1	3	1		1	1	10
従来棟	ヒヤリハット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故報告	0	0	2	2	2	2	0	0	4	1	1	3	17
合計		0	0	4	3	3	2	1	3	5	2	2	4	29

②課題及び改善状況

ユニット型 8・10名棟

<b>ユニット型 8・10名棟 令和4年度の課題</b>
<p>施設の共通目標は「入居者様の笑顔の為に」となっております。ユニットでは、業務に追われ入居者様と寄り添いの時間が取れていない現状である。「入居者様が生活する上で何を望んでいるのか」をしっかり向き合い、自立した生活支援に向けて必要とする介助はどこか、観察する目を養うことをユニットの目標とし、取り組んで参ります。入居者様一人一人が安心して笑顔で元気に暮らすことができるように努めていきたいと思っております。せくれ開設から10年が経過し、業務の見直しを定期的の実施し、業務改善を行いながら入居者様との「寄り添い」、理念にもあるように「気づき」を大切に考え、ユニット棟職員全員で取り組んで参ります。</p> <p>また、もう一つの課題でもある空床時の対応についても、各課と連携を強くし収益に繋がられるようにしていきます。</p>
<b>課題を改善するために講ずる計画の概要</b>
<p>① ユニット会議にて定期的に業務の見直しをかけ、業務効率化を図り、時間を有効的に使い入居者との寄り添いの時間を作り出す。</p> <p>② 入居者と接する際は入居者目線で考え、常に相手の立場になって関わりを持つ。</p> <p>③ 基礎土台共通ツールを活用し個々の状態、自立度を観察し必要な分のケアを提供する。</p> <p>④ 生活の中でのリハビリを行う。役割の継続、またその方に合った役割を見つけ意欲を持ち生活を送れるよう支援する。</p> <p>⑤ 入居者の楽しみを創出する。個々に合わせたレクリエーションやリハビリ、活動を実施する。</p> <p>⑥ 各課との繋がりを強くし、空床時早急な対応を行いショートステイの利用に対応していく。ショートの稼働へ貢献していく。</p>

従来棟（多床室）

<b>従来型（多床室） 令和4年度の課題</b>
<p>昨年同様、職員一人一人が、自分の置かれている職責をきちんと理解しきれていない為、使命、目的、目標を見失ってしまっていたように思います。会議等で基礎・土台を勉強しながら使命目的について勉強してまいりました。今年度は、社会人としての意識が不足していたように思いますので、どうしたらいいのか？を一人に考えていただきながらより良いケアができるように努めて参ります。寄り添いを持ちながら24hシートを上手に活用し、今持っている機能を低下させないように、趣味、嗜好に合わせた活動をしていきたいと思っております。</p> <p>介護機器については、眠りスキャンの導入により、入居者様をより深く知る事ができ、家族様や職員の安心につながる事が出来ました。また、今後も介護機器を使用しながら、スキルアップにも力を入れながらケアにあたりたいと思います。</p>
<b>課題を改善するために講ずる計画の概要</b>
<p>① 職員一人ひとりが目標を持って入居様の笑顔を引き出さるように努力して参ります。</p> <p>② 家族様の安心や職員の心身の負担軽減の為に昨年度同様に眠りスキャンを活用して行きたいと思っております。</p> <p>③ より良いケアができるように、努力を惜しまずにスキルアップを目指し内部研修、棟会議などで勉強して参ります。</p> <p>④ 職員間のコミュニケーションづくりを図り、同じ目線で統一したケアをするように致します。</p>

5. 特別養護老人ホームせくれ～Secure～ 各会議の開催状況

会議名	参加者職氏名	開催日	会議内容
1. 運営推進会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登米市福祉事務所 長寿介護課担当職員</li> <li>・迫町地域包括支援 センター 管理者</li> <li>・新田駅前地区 区長</li> <li>・新田駅前地区民生委 員</li> <li>・せくれ家族会会長</li> <li>・入居者代表3名</li> <li>☆施設長</li> <li>・事務全体主任</li> <li>・生活相談員</li> <li>・事務員</li> </ul>	<p>書面により開催</p> <p>※コロナウイルス感染症 対策により、令和3年4 月以降の開催については 中止。(登米市福祉事務所 と協議の上、中止を決 定)</p> <p>※内容について書面にて 各構成員の皆様へ送付し ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人及び施設の概要説明</li> <li>・事業計画、報告</li> <li>・運営推進会議規約及び構成員 の承認について</li> <li>・入居者現況報告</li> <li>・ひやりはっと、事故報告</li> <li>・苦情意見及び改善状況報告</li> <li>・行事計画及び実施報告 (納涼祭、新年会、敬老会等)</li> <li>・総合防災訓練実施報告</li> <li>・研修参加状況報告</li> <li>・実地指導監査報告について</li> <li>・クラブ活動実施計画について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員</li> <li>・看護職員</li> <li>・栄養士</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における公益的な取り組み活動方法について</li> <li>・脱水対策について</li> <li>・感染症対策報告について</li> <li>・年間事業計画及び事業報告(看護課、介護課、栄養課、相談課、事務課より)</li> <li>・質疑応答</li> <li>・各構成員より</li> </ul>
2. 地域協力員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協力員</li> <li>☆施設長</li> <li>・事務全体主任</li> <li>・生活相談員</li> <li>・事務員</li> <li>・介護職員</li> <li>・看護職員</li> <li>・栄養士</li> </ul>	<p>※コロナウイルス感染症対策により、令和3年4月以降の開催については中止。(登米市福祉事務所、地域協力員と協議の上、中止を決定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協力員の紹介</li> <li>・総合防災訓練計画及び実施報告について</li> <li>・緊急時の連絡体制について</li> <li>・各ユニット毎による、入居者の現況報告、避難誘導時の入居者対応の注意点</li> <li>・総合防災訓練の反省点</li> <li>・パッケージ型消火栓を使用した消火訓練の試みについて</li> <li>・普通救命講習会の実施報告</li> <li>・質疑応答</li> <li>・地域協力員より</li> </ul>
3. 職員全体会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養せくれ全職員</li> </ul>	<p>※別途、役職者会議や個別面談を通して施設方針、事業計画の説明等を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設方針及び重点施策</li> <li>・人材育成について</li> <li>・資金収支分析報告</li> <li>・ショートステイの稼働報告</li> <li>・行事計画について</li> <li>・職員アンケートの実施</li> <li>・内部研修「ビデオ鑑賞」</li> <li>・感染症対策とラジオ体操</li> <li>・研修復命について(3件)</li> <li>・職員アンケート実施報告</li> <li>・年次有給休暇の取得について</li> <li>・稟議書における決済について</li> <li>・業務改善及びマナーについて</li> <li>・目標管理と評価について</li> <li>・関係諸規則説明</li> <li>・各課の事業計画について</li> </ul>



<p>4. ユニット会議 【8、10名棟合同】</p>	<p>・各ユニット介護職員</p> <p>※各課職員については必要に応じ参加することとする。</p>	<p>書面により開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様情報共有</li> <li>・ユニット役割分担表について</li> <li>・ガバナンス強化</li> <li>・事業計画について</li> <li>・委員会より報告事項</li> <li>・身体拘束について（棟研修）</li> </ul>
<p>5. ユニット会議 【従来棟】</p>	<p>・各従来棟職員</p> <p>※各課職員については必要に応じ参加することとする。</p>	<p>書面により開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様の現況報告</li> <li>・カンファレンスの入居者について</li> <li>・来月の行事について</li> <li>・基礎土台、施設計画方針、施設理念、読み合わせ</li> <li>・役職者会議から</li> </ul>

## 6. 特別養護老人ホームせくれ～Secure～ 委員会の開催状況

施設全体の生活支援を構築する上で、職員各々が検討する場所が確立されることで『バランスのとれた入居者本位のサービス』へ繋がると捉え、入居者の人権の尊重を推進すると共に生活全般について、それぞれ調査・検討及び実践する機関及び各課の共通認識・連携を図る場所として以下の各委員会を開催した。  
(令和5年3月31日現在)

委員会名	参加者職氏名	開催日	委員会内容
1. 防火対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長</li> <li>・事務全体主任</li> <li>・生活相談員</li> <li>・事務員</li> <li>・介護職員</li> <li>・看護職員</li> <li>・栄養士</li> </ul>	書面により開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練内容の検討</li> <li>・地域協力委員会振り返り</li> <li>・夜間通報訓練の反省及び振り返り</li> </ul>
2. 安全衛生・感染 予防対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長</li> <li>・事務全体主任</li> <li>・生活相談員</li> <li>・事務員</li> <li>・介護職員</li> <li>・看護職員</li> <li>・栄養士</li> </ul>	書面により開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防についての確認（感染症、標準予防策について）</li> <li>・労働者の疲労度蓄積度自己判断チェックリストについて （前回結果と2回目のチェックリスト配布）</li> <li>・その他協議事項</li> <li>・インフルエンザについて</li> <li>・面会制限と対応について</li> <li>・疲労蓄積度自己判断チェックリスト集計結果について</li> <li>・その他</li> </ul>
3. 給食委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長</li> <li>・事務全体主任</li> <li>・生活相談員</li> <li>・事務員</li> <li>・介護職員</li> <li>・看護職員</li> <li>・栄養士</li> </ul>	書面により開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食について</li> <li>・検食簿のコメント</li> <li>・ユニット・栄養課・厨房から</li> <li>・とろみ剤の使用法について （試飲あり）</li> </ul>

<p>4. 広報・行事委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長</li> <li>・事務全体主任</li> <li>・生活相談員</li> <li>・事務員</li> <li>・介護職員</li> <li>・看護職員</li> <li>・栄養士</li> </ul>	<p>書面により開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者家族へ手紙の作成について</li> <li>・納涼祭について</li> <li>・アトラクションについて</li> <li>・長寿を祝う会について</li> <li>・目的日時時間確認</li> <li>・当日スケジュール確認</li> <li>・役割分担について</li> <li>・出し物について</li> </ul>
<p>5. リスクマネジメント・サービス向上委員会</p> <p>※委員会の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情処理に関すること</li> <li>・事故防止に関すること</li> <li>・身体拘束に関すること</li> <li>・施設サービス全般の向上に関すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長</li> <li>・事務全体主任</li> <li>・生活相談員</li> <li>・事務員</li> <li>・介護職員</li> <li>・看護職員</li> <li>・栄養士</li> </ul>	<p>書面により開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会年間活動計画について</li> <li>・現状におけるサービス提供上の課題及び要望について</li> <li>・事故・ヒヤリハットの分類と対策について</li> <li>・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認</li> <li>・身体拘束の有無</li> <li>・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について</li> <li>・施設内部研修会の実施について(身体拘束について)</li> <li>・身体拘束ゼロのために、相手の気持ちになって考える</li> <li>・苦情内容の確認</li> <li>・苦情再発防止策の確認</li> <li>・予知トレーニング</li> </ul>

6. 入居判定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細川公也施設長</li> <li>・菅原有佑全体主任</li> <li>・菊池誠志</li> <li>・熊谷美和</li> <li>・尾形信衛</li> <li>・加藤修一郎</li> <li>・内海奏絵</li> <li>・伊藤英明</li> <li>・南部陽和</li> <li>・大場直樹</li> <li>・嘱託医</li> <li>・法人監事 (第三者委員)</li> </ul>	令和4年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の委員会活動予定について</li> <li>・入居者及び入居待機者状況について</li> <li>・入居待機者の優先度判定、その他</li> </ul>
		令和4年8月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者及び入居待機者状況について</li> <li>・入居待機者の優先度判定、その他</li> </ul>
		令和4年12月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者及び入居待機者状況について</li> <li>・入居待機者の優先度判定、その他</li> </ul>
		令和5年2月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者及び入居待機者状況について</li> <li>・入居待機者の優先度判定、その他</li> <li>・来年度の開催日程の確認</li> </ul>
7. 褥瘡防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長</li> <li>・事務全体主任</li> <li>・生活相談員</li> <li>・事務員</li> <li>・介護職員</li> <li>・看護職員</li> <li>・栄養士</li> </ul>	書面により開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡の発生と関連のあるモニタリング項目について</li> <li>・褥瘡の現状報告</li> <li>・褥瘡に関するケア計画書・褥瘡について</li> <li>・各課との情報交換</li> <li>・褥瘡発生のメカニズムと防止</li> <li>・褥瘡の好発部位と良肢位について</li> <li>・褥瘡予防ケア</li> <li>・褥瘡発生のメカニズムと防止</li> </ul>
8. イキイキ生き甲斐委員会 (平成31年度新設)  ※委員会の内容 ・自立支援に関すること ・介護機器に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長</li> <li>・事務全体主任</li> <li>・生活相談員</li> <li>・事務員</li> <li>・介護職員</li> <li>・看護職員</li> <li>・栄養士</li> </ul>	書面により開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員自己紹介</li> <li>・委員会年間計画について</li> <li>・介護ロボット研修について</li> <li>・介護ロボット使用状況について</li> <li>・ロボット使用アンケートについて</li> <li>・ワークショップ</li> </ul> <p>～職員の働きやすい職場とは～</p>

※☆印は委員会の委員長及び担当者とする。☆印の多数の委員会については、委員長を互選で決定することとする。

## 7. 職員の資質向上策と福利厚生

社会福祉施設における役割には大きな期待が寄せられております。それに応える職員の資質向上と変化の激しい福祉施設のニーズの多様化に対応するため各種研修会へ積極的に参加し、職員間の連携と共通認識をより深めるため、内部研修も開催して参りました。また、人間性を重視した人材の育成に力を入れ、福祉施設の専門職員としての自覚と資質の向上に努めるとともに、職務に関連した資格取得の励行に努めて参りました。

### (1) 外部研修

(令和5年3月31日現在)

日時	研修名	研修場所	主催者	参加職員名
12月22日	高齢者施設 感染症対策について	登米市南方庁舎 2階 大会議室	登米市福祉事務所 長寿介護課	伊藤 英明

※令和4年度は、感染症（コロナウイルス等）を考慮し、研修会等を延期・中止。

### (2) 内部研修

施設サービスの向上と各課、職員個々のスキルアップを目的とし、講師又は施設職員を中心とし、特別養護老人ホームせくれ～Secure～所内研修会を開催致しました。

※令和4年度は、感染症（コロナウイルス等）流行のため、研修会等を延期・中止。

### (3) 職員の福利厚生の実施内容

職員の健康管理と施設内感染の予防を目的とし、健康診断及びインフルエンザ予防接種並びに腰椎検査、感染症対策へ万全を期してきました。(令和5年3月31日現在)

健康診断	対象者：全職員	場所：サンクリニック
腰椎検査	対象者：直接処遇職員	場所：サンクリニック
インフルエンザ予防接種	対象者：全職員	場所：特別養護老人ホームせくれ
ノロウイルス検査	対象者：栄養課・厨房職員	場所：特別養護老人ホームせくれ
腰痛予防サポートジャケット	対象者：全職員	職員介護負担軽減対策として整備

## 8. 避難訓練の実施状況

発見、消火、通報、避難誘導の基本を職員一人一人が理解することで、非常時においても適切な対応が図れるよう、以下のとおり避難訓練を実施致しました。

※令和4年度は、感染症（コロナウイルス等）流行のため、施設内部での図上訓練を実施。

## 9. 施設行事実施状況（全体行事）

（令和5年3月31日現在）

月 日	行 事 名	場 所	参 加 者 ・ 団 体
8月11日	納涼祭	施設内	入居者・施設職員
9月20日	敬老会	施設内	入居者・施設職員

※令和4年度は、感染症（コロナウイルス等）流行のため、行事等を延期・中止。

## 10. 地域との連携状況

（令和5年3月31日現在）

※令和4年度は、感染症（コロナウイルス等）流行のため、行事等を延期・中止。

## 11. 地域における公益的取り組み

社会福祉法の改正に伴い法人事業計画へ記載されているとおり、法第24条第2項へ準拠した取り組みを実施するとともに事業所が所在する地域の現況へ応じた取り組みを計画して参りました。

※令和4年度は、感染症（コロナウイルス等）流行のため、行事等を延期・中止。